

システム名	災対用ビル別情報マップ		
章番号	第3章 機能設計		
機能名			
3. 1. 4 被災状況登録			
3. 1. 4. 1 被災状況一覧			
3. 1. 4. 2 被災状況登録			
3. 1. 4. 3 被災状況詳細			
3. 1. 4. 4 被災状況修正			
3. 1. 4. 5 被災状況履歴			
3. 1. 4. 6 被災状況追加報告			
3. 1. 4. 7 被災状況CSV登録			

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 1 被災状況一覧

【1】イベント 1/6

No.	項目名	トリガー	処理内容						
1	—	初期表示	<p><1.1 前提条件></p> <p>1.1.1 地図画面より遷移する。</p> <p>1.1.2 被災状況登録画面より遷移する。</p> <p>1.1.3 被災状況詳細画面より遷移する。</p> <p>1.1.4 被災状況CSV登録画面より遷移する。</p> <p><1.2 初期処理></p> <p>1.2.1 画面入力項目を初期化する。</p> <p>1.2.2 メッセージエリアを初期化する。</p> <p>1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 <p>1.2.4 災害名プルダウンを、DBに登録された未削除の災害情報から生成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 災害発生日時／災害IDの降順でソートする。・ 初期値として、地図画面で表示中の災害名を表示する。 <p>1.2.5 組織名プルダウンを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って生成する。</p> <table><tr><th>ユーザレベル</th><th>組織名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>本社 支店</td><td><ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr><tr><td>グループ会社</td><td><ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr></table> <p>1.2.6 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織名プルダウンに設定した全ての組織に紐づく、ビルデータ情報を全て抽出する。</p> <p>1.2.7 ビル名プルダウンを、抽出したビルデータ情報から生成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ビルコードが重複するデータは除外する。・ ビルコードの昇順でソートする。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。 <p>1.2.8 会社名プルダウンを、抽出したビルデータ情報から生成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 会社IDが重複するデータは除外する。・ 会社IDの昇順でソートする。・ 初期値として“―選択してください―”を選択状態にする。	ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容	本社 支店	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。	グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。
ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容								
本社 支店	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								
グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 1 被災状況一覧

【1】イベント 2/6

No.	項目名	トリガー	処理内容										
1	1.2.9	災害名プルダウンが”未選択”状態の場合、以下の処理を行い、処理を抜ける。	<ul style="list-style-type: none">・ 災害名未選択メッセージを、メッセージエリアに表示する。(ED0006) 「災害名が選択されていません。」・ 被災状況情報件数0件を、ヘッダー文言③に表示する。・ ページ遷移リンクを非活性にする。										
	1.2.10	検索エリアの初期値の条件で、未削除のビルデータ一覧を全て抽出する。	<ul style="list-style-type: none">・ 検索項目が未入力の項目は、該当項目について全件検索とする。 ※組織名プルダウンに設定されていない組織のビルデータ情報を除く。										
			<table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>組織名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>ビル名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>会社名</td><td>完全一致検索。</td></tr></table>	検索項目	検索条件	組織名	完全一致検索。	ビル名	完全一致検索。	会社名	完全一致検索。		
	検索項目	検索条件											
	組織名	完全一致検索。											
	ビル名	完全一致検索。											
	会社名	完全一致検索。											
	1.2.11	検索エリアの初期値の条件で、未削除の被災状況一覧を全て抽出する。	<ul style="list-style-type: none">・ 検索項目が未入力の項目は、該当項目について全件検索とする。 ※組織名プルダウンに設定されていない組織の被災状況情報を除く。										
			<table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>災害名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>組織名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>ビル名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>会社名</td><td>完全一致検索。</td></tr></table>	検索項目	検索条件	災害名	完全一致検索。	組織名	完全一致検索。	ビル名	完全一致検索。	会社名	完全一致検索。
	検索項目	検索条件											
	災害名	完全一致検索。											
	組織名	完全一致検索。											
	ビル名	完全一致検索。											
	会社名	完全一致検索。											
	1.2.12	被災状況一覧(出力用)を生成する。	<ul style="list-style-type: none">・ 抽出したビルデータ情報、および被災状況情報をマージして、被災状況一覧(出力用)を生成する。被災状況情報が未登録のビルに関しては、被災状況の【報告なし】データとして一覧を生成する。										
	1.2.13	処理(1.2.12)で生成した一覧から、検索エリアの初期値の条件で、被災状況一覧(出力用)を再生成する。	<ul style="list-style-type: none">・ 以下の検索条件全てが未選択の場合は、該当項目について全件検索とする。										
		<table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>被災状況</td><td>選択されている状況を検索。</td></tr></table>	検索項目	検索条件	被災状況	選択されている状況を検索。							
検索項目	検索条件												
被災状況	選択されている状況を検索。												
1.2.14	生成した被災状況一覧(出力用)の件数を、ヘッダー文言③に表示する。												
1.2.15	生成した被災状況一覧を(出力用)、被災状況一覧エリアに表示する。	<ul style="list-style-type: none">・ 以下のソート項目で並び替えした後に初期表示する。											
		<table><tr><th>ソート項目</th><th>ソート順</th></tr><tr><td>被災状況</td><td>被災あり > 被災なし > 報告なし</td></tr><tr><td>組織コード</td><td>昇順</td></tr><tr><td>ビルコード</td><td>昇順</td></tr><tr><td>会社ID</td><td>昇順</td></tr></table>	ソート項目	ソート順	被災状況	被災あり > 被災なし > 報告なし	組織コード	昇順	ビルコード	昇順	会社ID	昇順	
ソート項目	ソート順												
被災状況	被災あり > 被災なし > 報告なし												
組織コード	昇順												
ビルコード	昇順												
会社ID	昇順												
		<ul style="list-style-type: none">・ 結果がゼロ件の場合、下記項目を非活性にする。<ul style="list-style-type: none">・ ページ遷移リンク											
1.2.16	ページ遷移リンクの設定。	<ul style="list-style-type: none">・ 次ページがある場合は、次ページリンクを設定する。・ 前ページのリンクは、テキストの表示のみとする。											

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 1 被災状況一覧

【1】イベント 3/6

No.	項目名	トリガー	処理内容																																
2	検索ボタン	押下時	<p><2.1 前提条件></p> <p>2.1.1 検索ボタンを押下する。</p> <p><2.2 一覧検索処理></p> <p>2.2.1 必須入力チェック</p> <ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。 <p>2.2.2 検索エリアの各入力欄のAND条件で、未削除のビルデータ一覧を全て抽出する。</p> <ul style="list-style-type: none">・検索項目で未入力を指定した項目は、該当項目について全件検索とする。 ※組織名プルダウンに設定されていない組織のビルデータ情報を除く。 <table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>組織名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>ビル名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>会社名</td><td>完全一致検索。</td></tr></table> <p>2.2.3 検索エリアの各入力欄のAND条件で、未削除の被災状況一覧を抽出する。</p> <ul style="list-style-type: none">・検索項目で未入力を指定した項目は、該当項目について全件検索とする。 ※組織名プルダウンに設定されていない組織の被災状況情報を除く。 <table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>災害名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>組織名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>ビル名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>会社名</td><td>完全一致検索。</td></tr></table> <p>2.2.4 被災状況一覧(出力用)を生成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・抽出したビルデータ情報、および被災状況情報をマージして、被災状況一覧(出力用)を生成する。被災状況情報が未登録のビルに関しては、被災状況の【報告なし】データとして一覧を生成する。 <p>2.2.5 処理(2.2.4)で生成した一覧から、検索エリアの被災状況チェックボックス欄のOR条件で、被災状況一覧(出力用)を再生成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・以下の検索条件全てが未選択の場合は、該当項目について全件検索とする。 <table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>被災状況</td><td>選択されている状況を検索。</td></tr></table> <p>2.2.6 生成した被災状況一覧(出力用)の件数を、ヘッダー文言③に表示する。</p> <p>2.2.7 生成した被災状況一覧(出力用)を、被災状況一覧エリアに表示する。</p> <ul style="list-style-type: none">・以下のソート項目で並び替えした後に初期表示する。 <table><tr><th>ソート項目</th><th>ソート順</th></tr><tr><td>被災状況</td><td>被災あり > 被災なし > 報告なし</td></tr><tr><td>組織コード</td><td>昇順</td></tr><tr><td>ビルコード</td><td>昇順</td></tr><tr><td>会社ID</td><td>昇順</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">・結果がゼロ件の場合、下記項目を非活性にする。<ul style="list-style-type: none">・ ページ遷移リンク <p>2.2.8 ページ遷移リンクの設定。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 次ページがある場合は、次ページリンクを設定する。・ 前ページのリンクは、テキストの表示のみとする。	検索項目	検索条件	組織名	完全一致検索。	ビル名	完全一致検索。	会社名	完全一致検索。	検索項目	検索条件	災害名	完全一致検索。	組織名	完全一致検索。	ビル名	完全一致検索。	会社名	完全一致検索。	検索項目	検索条件	被災状況	選択されている状況を検索。	ソート項目	ソート順	被災状況	被災あり > 被災なし > 報告なし	組織コード	昇順	ビルコード	昇順	会社ID	昇順
検索項目	検索条件																																		
組織名	完全一致検索。																																		
ビル名	完全一致検索。																																		
会社名	完全一致検索。																																		
検索項目	検索条件																																		
災害名	完全一致検索。																																		
組織名	完全一致検索。																																		
ビル名	完全一致検索。																																		
会社名	完全一致検索。																																		
検索項目	検索条件																																		
被災状況	選択されている状況を検索。																																		
ソート項目	ソート順																																		
被災状況	被災あり > 被災なし > 報告なし																																		
組織コード	昇順																																		
ビルコード	昇順																																		
会社ID	昇順																																		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 1 被災状況一覧

【1】イベント 4/6

No.	項目名	トリガー	処理内容																		
3	クリアボタン	押下時	<div><3.1 前提条件> 3.1.1 クリアボタンを押下する。</div> <div><3.2 クリア処理> 3.2.1 検索エリアの各項目を、初期表示時の状態に戻す。 3.2.2 メッセージエリアを初期化する。</div>																		
4	被災状況登録画面へボタン	押下時	<div><4.1 前提条件> 4.1.1 被災状況登録画面へボタンを押下する。</div> <div><4.2 画面遷移処理> 4.2.1 被災状況登録画面に遷移する。</div>																		
5	被災状況CSV登録画面へボタン	押下時	<div><5.1 前提条件> 5.1.1 被災状況CSV登録画面へボタンを押下する。</div> <div><5.2 画面遷移処理> 5.2.1 被災状況CSV登録画面に遷移する。</div>																		
6	被災状況CSV出力ボタン	押下時	<div><6.1 前提条件> 6.1.1 被災状況CSV出力ボタンを押下する。</div> <div><6.2 被災状況一覧出力処理> 6.2.1 検索エリアの各入力欄のAND条件で、未削除のビルデータ一覧を全て抽出する。<div>・ 検索項目で未入力を指定した項目は、該当項目について全件検索とする。 ※組織名プルダウンに設定されていない組織のビルデータ情報を除く。</div><table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>組織名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>ビル名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>会社名</td><td>完全一致検索。</td></tr></table></div> <div>6.2.2 検索エリアの各入力欄のAND条件で、未削除の被災状況一覧を抽出する。<div>・ 検索項目で未入力を指定した項目は、該当項目について全件検索とする。 ※組織名プルダウンに設定されていない組織の被災状況情報を除く。</div><table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>災害名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>組織名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>ビル名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>会社名</td><td>完全一致検索。</td></tr></table></div>	検索項目	検索条件	組織名	完全一致検索。	ビル名	完全一致検索。	会社名	完全一致検索。	検索項目	検索条件	災害名	完全一致検索。	組織名	完全一致検索。	ビル名	完全一致検索。	会社名	完全一致検索。
検索項目	検索条件																				
組織名	完全一致検索。																				
ビル名	完全一致検索。																				
会社名	完全一致検索。																				
検索項目	検索条件																				
災害名	完全一致検索。																				
組織名	完全一致検索。																				
ビル名	完全一致検索。																				
会社名	完全一致検索。																				

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 1 被災状況一覧

【1】イベント 5/6

No.	項目名	トリガー	処理内容								
6	6.2.3 被災状況一覧(出力用)を生成する。 ・ 生成したビルデータ情報、および被災状況情報をマージして、被災状況一覧(出力用)を生成する。被災状況情報が未登録のビルに関しては、被災状況の【報告なし】データとして一覧を生成する。 6.2.4 処理(6.2.3)で生成した一覧から、検索エリアの被災状況チェックボックス欄のOR条件で、被災状況一覧(出力用)を再生成する。 ・ 以下の検索条件全てが未選択の場合は、該当項目について全件検索とする。 <table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>被災状況</td><td>選択されている状況を検索。</td></tr></table> 6.2.5 表示件数のチェック データの存在チェックを行う。チェック内容は【2】ファイルデータ存在チェック参照。 6.2.6 被災状況一覧(出力用)をCSVファイルで出力する。 [出力項目、処理の詳細] 5. 2 ファイル設計 5. 2. 1 被災状況CSV参照。 [出力ファイル名] 「被災状況情報_xxxx_yyyymmddhhmmss.csv」 (※xxxxには処理ユーザIDを設定) (※yyymmddhhmmssには、システム日付、時分秒を設定) [出力ソート順] 出力ソート順は表示中の一覧の順序に準じる。			検索項目	検索条件	被災状況	選択されている状況を検索。				
検索項目	検索条件										
被災状況	選択されている状況を検索。										
7	一覧行選択リンク	クリック時	<7.1 前提条件> 7.1.1 被災状況一覧の行にカーソルを合わせ、行をクリックする。 <7.2 画面遷移処理> 7.2.1 画面遷移が可能か被災状況の値をもとに判断する。 <table><tr><th>被災状況</th><th>処理遷移</th></tr><tr><td>被災あり</td><td>・ 次の処理(7.2.2)へ進む。</td></tr><tr><td>被災なし</td><td>・ 次の処理(7.2.2)へ進む。</td></tr><tr><td>報告なし</td><td>・ 処理を抜ける。</td></tr></table> 7.2.2 指定された行の被災状況情報の被災状況詳細画面へ遷移する。	被災状況	処理遷移	被災あり	・ 次の処理(7.2.2)へ進む。	被災なし	・ 次の処理(7.2.2)へ進む。	報告なし	・ 処理を抜ける。
被災状況	処理遷移										
被災あり	・ 次の処理(7.2.2)へ進む。										
被災なし	・ 次の処理(7.2.2)へ進む。										
報告なし	・ 処理を抜ける。										
8	ソートリンク	クリック時	<8.1 前提条件> 8.1.1 各ソートリンクをクリックする。 <8.2 被災状況一覧更新処理> 8.2.1 表示中の一覧について、ソート順を変更後再表示する。 <table><tr><th>ソート項目</th><th>ソートキーの属性</th></tr><tr><td>被災状況</td><td>半角英数</td></tr></table>	ソート項目	ソートキーの属性	被災状況	半角英数				
ソート項目	ソートキーの属性										
被災状況	半角英数										

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 1 被災状況一覧

【1】イベント 6/6

No.	項目名	トリガー	
処理内容			
9	地図に戻るボタン	クリック時	
<div><9.1 前提条件></div> <div>9.1.1 地図に戻るボタンを押す。</div>			
<div><9.2 戻る処理></div> <div>9.2.1 地図画面に戻る。</div>			
10	前に戻るボタン	クリック時	
<div><10.1 前提条件></div> <div>10.1.1 前に戻るボタンを押す。</div>			
<div><10.2 戻る処理></div> <div>10.2.1 前画面に戻る。</div>			

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 1 被災状況一覧

【2】チェック処理 1/1

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	ED0006	メッセージエリア
2	ファイルデータ存在 チェック	表示件数が1件以上の場合		
		上記条件を満たさない。	ED0003	メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 必須項目

項目名	トリガー
災害名	(登録ボタン押下)

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 2 被災状況登録

【1】イベント 1/4

No.	項目名	トリガー	処理内容												
1	—	初期表示	<p><1.1 前提条件></p> <p>1.1.1 被災状況一覧画面より遷移する。</p> <p><1.2 初期処理></p> <p>1.2.1 画面入力項目を初期化する。</p> <p>1.2.2 メッセージエリアを初期化する。</p> <p>1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。・ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 <p>1.2.4 災害名プルダウンを、DBに登録された未削除の災害情報から生成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・災害発生日時／災害IDの降順でソートする。・初期値として、被災状況一覧画面で表示中の災害名を表示する。 <p>1.2.5 組織名プルダウンを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って生成する。</p> <table><tr><th>ユーザレベル</th><th>組織名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>本社</td><td><ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr><tr><td>支店 グループ会社</td><td><ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr></table> <p>1.2.6 ビル名プルダウンを、組織名プルダウンの設定状況に従って生成する。</p> <table><tr><th>組織名プルダウン</th><th>ビル名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>選択可能な組織名が複数</td><td><ul style="list-style-type: none">・”―選択してください―”のみを設定する。・初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。</td></tr><tr><td>選択可能な組織名が単一</td><td><ul style="list-style-type: none">・組織名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。・ビルコードが重複するデータは除外する。・ビルコードの昇順で表示する。・初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。</td></tr></table>	ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容	本社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。	支店 グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。	組織名プルダウン	ビル名プルダウン生成内容	選択可能な組織名が複数	<ul style="list-style-type: none">・”―選択してください―”のみを設定する。・初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。	選択可能な組織名が単一	<ul style="list-style-type: none">・組織名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。・ビルコードが重複するデータは除外する。・ビルコードの昇順で表示する。・初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。
ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容														
本社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。														
支店 グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値としてユーザ情報の組織名1を選択状態にする。														
組織名プルダウン	ビル名プルダウン生成内容														
選択可能な組織名が複数	<ul style="list-style-type: none">・”―選択してください―”のみを設定する。・初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。														
選択可能な組織名が単一	<ul style="list-style-type: none">・組織名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。・ビルコードが重複するデータは除外する。・ビルコードの昇順で表示する。・初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。														

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 2 被災状況登録

【1】イベント 2/4

No.	項目名	トリガー	処理内容						
1	1.2.7 会社名プルダウンを、組織名プルダウンの設定状況に従って生成する。 <table><tr><th>組織名プルダウン</th><th>会社名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>選択可能な組織名が複数</td><td><div>・ “--選択してください--”のみを設定する。</div><div>・ 初期値として“--選択してください--”を選択状態にする。</div></td></tr><tr><td>選択可能な組織名が単一</td><td><div>・ 組織名プルダウン、およびビル名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。</div><div>・ 会社IDが重複するデータは除外する。</div><div>・ 会社IDの昇順で表示する。</div><div>・ 初期値として“--選択してください--”を選択状態にする。</div></td></tr></table>			組織名プルダウン	会社名プルダウン生成内容	選択可能な組織名が複数	<div>・ “--選択してください--”のみを設定する。</div> <div>・ 初期値として“--選択してください--”を選択状態にする。</div>	選択可能な組織名が単一	<div>・ 組織名プルダウン、およびビル名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。</div> <div>・ 会社IDが重複するデータは除外する。</div> <div>・ 会社IDの昇順で表示する。</div> <div>・ 初期値として“--選択してください--”を選択状態にする。</div>
組織名プルダウン	会社名プルダウン生成内容								
選択可能な組織名が複数	<div>・ “--選択してください--”のみを設定する。</div> <div>・ 初期値として“--選択してください--”を選択状態にする。</div>								
選択可能な組織名が単一	<div>・ 組織名プルダウン、およびビル名プルダウンの値と一致するビルデータ情報から生成する。</div> <div>・ 会社IDが重複するデータは除外する。</div> <div>・ 会社IDの昇順で表示する。</div> <div>・ 初期値として“--選択してください--”を選択状態にする。</div>								
	1.2.8 ラジオボタンの初期値を設定する。 下記ラジオボタン項目について初期値として“被災なし”を選択状態にする。 <div><div>・ 被災状況</div><div>・ 下記ラジオボタン項目について初期値として“使用可”を選択状態にする。</div><div>・ 電気／ガス／水道／通話・通信</div></div>								
	1.2.9 報告日時欄に(システム日付 + 00時00分)をセットする。								
2	クリアボタン	押下時	<div><2.1 前提条件></div> <div>2.1.1 クリアボタンを押下する。</div> <div><2.2 クリア処理></div> <div>2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001) 「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(2.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。</div> <div>2.2.2 すべての入力(プルダウン、ラジオボタン含む)項目を初期表示時の状態に戻す。</div> <div>2.2.3 メッセージエリアを初期化する。</div>						
3	組織名プルダウン	選択時	<div><3.1 前提条件></div> <div>3.1.1 組織名プルダウンの組織名を選択(変更)する。</div> <div><3.2 ビル名プルダウン絞り込み処理></div> <div>3.2.1 組織名プルダウンにて指定された、組織名に該当する組織コードを取得する。</div> <div>3.2.2 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織コードに紐づく、ビルデータ情報を全て抽出する。</div> <div>3.2.3 ビル名プルダウンを、抽出したビルデータ情報から再生成する。<div><div>・ ビルコードが重複するデータは除外する。</div><div>・ ビルコードの昇順でソートする。</div><div>・ 初期値として“--選択してください--”を選択状態にする。</div></div></div> <div>3.2.4 会社名プルダウンを初期化する。<div><div>・ “--選択してください--”のみを設定する。</div><div>・ 初期値として“--選択してください--”を選択状態にする。</div></div></div>						

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 2 被災状況登録

【1】イベント 3/4

No.	項目名	トリガー	処理内容
4	ビル名プルダウン	選択時	<div><4.1 前提条件> 4.1.1 ビル名プルダウンのビル名を選択(変更)する。</div> <div><4.2 会社名プルダウン絞り込み処理> 4.2.1 組織名プルダウンにて指定された、組織名に該当する組織コードを取得する。 4.2.2 ビル名プルダウンにて指定された、ビル名に該当するビルコードを取得する。 4.2.3 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織コード／ビルコードに紐づく、ビルデータ情報を全て抽出する。 4.2.4 会社名プルダウンを、抽出したビルデータ情報から再生成する。<ul style="list-style-type: none">・会社IDが重複するデータは除外する。・会社IDの昇順でソートする。・初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。</div>
5	登録ボタン	押下時	<div><5.1 前提条件> 5.1.1 登録ボタンを押下する。</div> <div><5.2 登録確定処理> 5.2.1 登録確認ダイアログを表示する。(ND0001) 「被災状況情報を登録します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(5.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 5.2.2 必須入力チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。5.2.3 文字数チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。5.2.4 属性チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。・未入力の場合、チェックしない。5.2.5 一意チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の一意チェックを参照。5.2.6 有効年月日時分チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の有効年月日時分チェックを参照。5.2.7 災害情報有無チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の災害情報有無チェックを参照。5.2.8 ビルデータ情報有無チェック<ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】のビルデータ情報有無チェックを参照。5.2.9 入力内容をDBに登録する。 5.2.10 完了を被災状況詳細画面のメッセージエリアに表示する。(NA0002) 「以下の内容で登録しました。」 5.2.11 被災状況詳細画面に遷移する。</div>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 2 被災状況登録

【1】イベント 4/4

No.	項目名	トリガー	処理内容
6	地図に戻るボタン	クリック時	
	<6.1 前提条件> 6.1.1 地図に戻るボタンを押す。		
	<6.2 戻る処理> 6.2.1 地図画面に戻る。		
7	前に戻るボタン	クリック時	
	<7.1 前提条件> 7.1.1 前に戻るボタンを押す。		
	<7.2 戻る処理> 7.2.1 前画面に戻る。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 2 被災状況登録

【2】チェック処理 1/2

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EA0001	メッセージエリア
2	文字数チェック	テキストエリア入力項目(※4)について、入力文字数が指定文字数以下であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0018	メッセージエリア
3	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※5)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
4	属性チェック (半角英数記号)	”半角英数記号”項目(※6)について、半角英数のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0008	メッセージエリア
5	一意チェック	同じ災害ID／組織コード／ビルコード／会社IDを持つ未削除の被災状況情報が存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	EA0014	メッセージエリア
6	有効年月日時分 チェック	報告日時が日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
7	災害情報有無 チェック	同じ災害IDを持つ未削除の災害情報が存在すること。		
		上記条件を満たさない。	ED0001	メッセージエリア
8	ビルデータ情報有無 チェック	同じ組織コード／ビルコード／会社IDを持つ未削除のビルデータ情報が存在すること。		
		上記条件を満たさない。	ED0002	メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 2 被災状況登録

【2】チェック処理 2/2

※3 必須項目

項目名	トリガー
災害名 組織名 ビル名 会社名 報告日時 報告者氏名 被災状況(メモ除く) 電気 ガス 水道 通話・通信	(登録ボタン押下)

※4 "テキストエリア入力"項目

項目名	トリガー
被災状況(メモ) 備考	(登録ボタン押下)

※5 "全半角"項目

項目名	トリガー
報告者氏名 被災状況(メモ) 備考	(登録ボタン押下)

※6 "半角英数記号"項目

項目名	トリガー
報告者電話番号(数字またはハイフンのみ可)	(登録ボタン押下)

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 3 被災状況詳細

【1】イベント 1/2

No.	項目名	トリガー	処理内容												
1	—	初期表示	<p><1.1 前提条件></p> <p>1.1.1 被災状況一覧画面より遷移する。</p> <p>1.1.2 被災状況登録画面より遷移する。</p> <p>1.1.3 被災状況修正画面より遷移する。</p> <p>1.1.4 被災状況履歴画面より遷移する。</p> <p>1.1.5 被災状況追加報告画面より遷移する。</p> <p><1.2 初期処理></p> <p>1.2.1 ヘッダーバーを初期化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 <p>1.2.2 前画面にて指定された行の被災状況情報を抽出する。</p> <p>1.2.3 DBに登録された未削除の災害情報から、災害IDに紐づく、災害情報を抽出する。</p> <p>1.2.4 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、ビルデータ情報を抽出する。</p> <p>1.2.5 修正ボタン、追加報告ボタン、削除ボタンの表示／非表示の切り替えを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って行う。</p> <table><tr><th>ユーザレベル</th><th>ボタンの表示／非表示</th></tr><tr><td>本社</td><td>・ 表示する。</td></tr><tr><td>支店</td><td>・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出したビルデータ情報の組織コードが一致する場合：</td></tr><tr><td>グループ会社</td><td>・ 表示する。</td></tr><tr><td></td><td>・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出したビルデータ情報の組織コードが一致しない場合：</td></tr><tr><td></td><td>・ 非表示にする。</td></tr></table> <p>1.2.6 抽出したビルデータ情報のビル名を、ヘッダー文言③に表示する。</p> <p>1.2.7 抽出した災害情報／ビルデータ情報／被災状況情報を被災状況詳細エリアに表示する。</p> <p>1.2.8 DBに過去の報告履歴が存在する場合、被災状況履歴画面リンクを表示する。</p> <p>”第”＋報告回数＋”回 ”＋報告日時</p>	ユーザレベル	ボタンの表示／非表示	本社	・ 表示する。	支店	・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出したビルデータ情報の組織コードが一致する場合：	グループ会社	・ 表示する。		・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出したビルデータ情報の組織コードが一致しない場合：		・ 非表示にする。
ユーザレベル	ボタンの表示／非表示														
本社	・ 表示する。														
支店	・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出したビルデータ情報の組織コードが一致する場合：														
グループ会社	・ 表示する。														
	・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、抽出したビルデータ情報の組織コードが一致しない場合：														
	・ 非表示にする。														
2	修正ボタン	クリック時	<p><2.1 前提条件></p> <p>2.1.1 修正ボタンを押下する。</p> <p><2.2 画面遷移処理></p> <p>2.2.1 指定した被災状況情報の被災状況修正画面へ遷移する。</p>												
3	追加報告ボタン	クリック時	<p><3.1 前提条件></p> <p>3.1.1 追加報告ボタンを押下する。</p> <p><3.2 画面遷移処理></p> <p>3.2.1 指定した被災状況情報の被災状況追加報告画面へ遷移する。</p>												

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 3 被災状況詳細

【1】イベント 2/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
4	削除ボタン	クリック時	<div><4.1 前提条件> 4.1.1 削除ボタンを押下する。</div> <div><4.2 削除確定処理> 4.2.1 削除確認ダイアログを表示する。(ND0003) 「被災状況情報を報告履歴を含めて削除します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(4.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 4.2.2 排他チェック ・チェック内容は、【2】の排他チェックを参照。 4.2.3 削除更新処理を行う。(履歴も含めて全て削除) 4.2.4 完了を被災状況一覧画面のメッセージエリアに表示する。(ND0004) 「被災状況情報を削除しました。」 4.2.5 被災状況一覧画面に遷移する。</div>
5	地図に戻るボタン	クリック時	<div><5.1 前提条件> 5.1.1 地図に戻るボタンを押す。</div> <div><5.2 戻る処理> 5.2.1 地図画面に戻る。</div>
6	前に戻るボタン	クリック時	<div><6.1 前提条件> 6.1.1 前に戻るボタンを押す。</div> <div><6.2 戻る処理> 6.2.1 前画面に戻る。</div>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 3 被災状況詳細

【2】チェック処理 1/1

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	排他チェック	表示中の被災状況情報が最新であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0013	被災状況一覧画面のメッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 4 被災状況修正

【1】イベント 1/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	—	初期表示	<div><1.1 前提条件> 1.1.1 被災状況詳細画面より遷移する。</div> <div><1.2 初期処理> 1.2.1 画面入力項目を初期化する。 1.2.2 メッセージエリアを初期化する。 1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。 ・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。 ・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 1.2.4 前画面にて指定された災害ID／組織コード／ビルコード／会社ID／報告回数から、被災状況情報を抽出する。 1.2.5 DBに登録された未削除の災害情報から、災害IDに紐づく、災害情報を抽出する。 1.2.6 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、ビルデータ情報を抽出する。 1.2.7 抽出したビルデータ情報のビル名を、ヘッダー文言③に表示する。 1.2.8 抽出した災害情報／ビルデータ情報／被災状況情報を、被災状況修正エリアに初期表示する。</div>
2	クリアボタン	押下時	<div><2.1 前提条件> 2.1.1 クリアボタンを押下する。</div> <div><2.2 クリア処理> 2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001) 「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(2.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 2.2.2 すべての入力(プルダウン、ラジオボタン含む)項目を初期表示時の状態に戻す。 2.2.3 メッセージエリアを初期化する。</div>

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 4 被災状況修正

【1】イベント 2/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
3	登録ボタン	押下時	<p><3.1 前提条件></p> <p>3.1.1 登録ボタンを押下する。</p> <p><3.2 登録確定処理></p> <p>3.2.1 確認ダイアログを表示する。(ND0002)</p> <p>「被災状況情報を修正します。よろしいですか？」OK・キャンセル</p> <p>OK押下：次の処理(3.2.2)へ進む。</p> <p>キャンセル押下：処理を抜ける。</p> <p>3.2.2 必須入力チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。 <p>3.2.3 文字数チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。 <p>3.2.4 属性チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。 <p>3.2.5 一意チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】の一意チェックを参照。 <p>3.2.6 有効年月日時分チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】の有効年月日時分チェックを参照。 <p>3.2.7 災害情報有無チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】の災害情報有無チェックを参照。 <p>3.2.8 ビルデータ情報有無チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】のビルデータ情報有無チェックを参照。 <p>3.2.9 排他チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック内容は、【2】の排他チェックを参照。 <p>3.2.10 DBIに存在する表示中の被災状況情報に対し、入力内容を上書きする。</p> <p>3.2.11 完了を被災状況詳細画面のメッセージエリアに表示する。(NA0002)</p> <p>「以下の内容で登録しました。」</p> <p>3.2.12 被災状況詳細画面に遷移する。</p>
4	地図に戻るボタン	クリック時	<p><4.1 前提条件></p> <p>4.1.1 地図に戻るボタンを押す。</p> <p><4.2 戻る処理></p> <p>4.2.1 地図画面に戻る。</p>
5	前に戻るボタン	クリック時	<p><5.1 前提条件></p> <p>5.1.1 前に戻るボタンを押す。</p> <p><5.2 戻る処理></p> <p>5.2.1 前画面に戻る。</p>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 4 被災状況修正

【2】チェック処理 1/2

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EA0001	メッセージエリア
2	文字数チェック	テキストエリア入力項目(※4)について、入力文字数が指定文字数以下であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0018	メッセージエリア
3	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※5)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		上記を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
4	属性チェック (半角英数記号)	”半角英数記号”項目(※6)について、半角英数のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0008	メッセージエリア
5	一意チェック	同じ災害ID／組織コード／ビルID／会社IDを持つ未削除の被災状況情報が存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	EA0014	メッセージエリア
6	有効年月日時分 チェック	報告日時が日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
7	災害情報有無 チェック	同じ災害コードを持つ未削除の災害情報が存在すること。		
		上記条件を満たさない。	ED0001	メッセージエリア
8	ビルデータ情報有無 チェック	同じ組織コード／ビルコード／会社IDを持つ未削除のビルデータ情報が存在すること。		
		上記条件を満たさない。	ED0002	メッセージエリア
9	排他チェック	表示中の被災状況情報が最新であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0013	被災状況一覧画面のメッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 4 被災状況修正

【2】チェック処理 2/2

※3 必須項目

項目名	トリガー
報告日時 報告日時 報告者氏名 被災状況(メモ除く) 電気 ガス 水道 通話・通信	(登録ボタン押下)

※4 "テキストエリア入力"項目

項目名	トリガー
被災状況(メモ) 備考	(登録ボタン押下)

※5 "全半角"項目

項目名	トリガー
報告者氏名 被災状況(メモ) 備考	(登録ボタン押下)

※6 "半角英数記号"項目

項目名	トリガー
報告者電話番号(数字またはハイフンのみ可)	(登録ボタン押下)

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 5 被災状況履歴

【1】イベント 1/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	—	初期表示	<div><1.1 前提条件> 1.1.1 被災状況詳細画面より遷移する。</div> <div><1.2 初期処理> 1.2.1 ヘッダーバーを初期化する。 ・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。 ・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 1.2.2 前画面にて指定された災害ID／組織コード／ビルコード／会社ID／報告回数から、被災状況情報(履歴)を抽出する。 1.2.3 DBに登録された未削除の災害情報から、災害IDに紐づく、災害情報を抽出する。 1.2.4 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、ビルデータ情報を抽出する。 1.2.5 抽出したビルデータ情報のビル名を、ヘッダー文言③に表示する。 1.2.6 抽出した災害情報／ビルデータ情報／被災状況情報(履歴)を、被災状況履歴エリアに初期表示する。</div>
2	閉じるボタン	クリック時	<div><2.1 前提条件> 2.1.1 閉じるボタンを押す。</div> <div><2.2 タブを閉じる処理> 2.2.1 本ウインドウのタブを閉じる。</div>

システム名	災対用ビル別情報マップ		
章番号	第3章 機能設計		
	機能名		
	3. 1. 4 被災状況登録		
画面名	3. 1. 4. 5 被災状況履歴		
<div>【2】チェック処理 1/1</div> <div>チェックなし</div>			

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 6 被災状況追加報告

【1】イベント 1/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
1	—	初期表示	<div><1.1 前提条件> 1.1.1 被災状況詳細画面より遷移する。</div> <div><1.2 初期処理> 1.2.1 画面入力項目を初期化する。 1.2.2 メッセージエリアを初期化する。 1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。<div>・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。 ・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。</div>1.2.4 前画面にて指定された災害ID／組織コード／ビルコード／会社ID／報告回数から、被災状況情報を抽出する。 1.2.5 DBに登録された未削除の災害情報から、災害IDに紐づく、災害情報を抽出する。 1.2.6 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、ビルデータ情報を抽出する。 1.2.7 抽出したビルデータ情報のビル名を、ヘッダー文言③に表示する。 1.2.8 抽出した災害情報／ビルデータ情報／被災状況情報を、被災状況追加報告エリアに初期表示する。 1.2.9 今回の報告回数を前回＋1回として表示する。 1.2.10 報告日時欄に(システム日付＋00時00分)をセットする。</div>
2	クリアボタン	押下時	<div><2.1 前提条件> 2.1.1 クリアボタンを押下する。</div> <div><2.2 クリア処理> 2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001) 「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(2.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 2.2.2 すべての入力(ラジオボタン含む)項目を初期表示時の状態に戻す。 2.2.3 メッセージエリアを初期化する。</div>
3	登録ボタン	押下時	<div><3.1 前提条件> 3.1.1 登録ボタンを押下する。</div> <div><3.2 登録確定処理> 3.2.1 確認ダイアログを表示する。(ND0002) 「被災状況情報を修正します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(3.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 3.2.2 必須入力チェック ・ チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。</div>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 6 被災状況追加報告

【1】イベント 2/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
3	<div>3.2.3 文字数チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。</div> <div>3.2.4 属性チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。</div> <div>3.2.5 有効年月日時分チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の有効年月日時分チェックを参照。</div> <div>3.2.6 災害情報有無チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の災害情報有無チェックを参照。</div> <div>3.2.7 ビルデータ情報有無チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】のビルデータ情報有無チェックを参照。</div> <div>3.2.8 報告回数上限チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の報告回数上限を参照。</div> <div>3.2.9 排他チェック</div> <div>・チェック内容は、【2】の排他チェックを参照。</div> <div>3.2.10 入力内容をDBに登録する。</div> <div>3.2.11 完了を被災状況詳細画面のメッセージエリアに表示する。(NA0002)</div> <div>「以下の内容で登録しました。」</div> <div>3.2.12 被災状況詳細画面に遷移する。</div>		
4	地図に戻るボタン	クリック時	<div><4.1 前提条件></div> <div>4.1.1 地図に戻るボタンを押す。</div> <div><4.2 戻る処理></div> <div>4.2.1 地図画面に戻る。</div>
5	前に戻るボタン	クリック時	<div><5.1 前提条件></div> <div>5.1.1 前に戻るボタンを押す。</div> <div><5.2 戻る処理></div> <div>5.2.1 前画面に戻る。</div>

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 6 被災状況追加報告

【2】チェック処理 1/2

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EA0001	メッセージエリア
2	文字数チェック	テキストエリア入力項目(※4)について、入力文字数が指定文字数以下であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0018	メッセージエリア
3	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※5)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		上記を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
4	属性チェック (半角英数記号)	”半角英数記号”項目(※6)について、半角英数のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0008	メッセージエリア
5	有効年月日時分 チェック	報告日時が日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
6	災害情報有無チェック	同じ災害コードを持つ未削除の災害情報が存在すること。		
		上記条件を満たさない。	ED0001	メッセージエリア
7	ビルデータ情報有無 チェック	同じ組織コード／ビルコード／会社IDを持つ未削除のビルデータ情報が存在すること。		
		上記条件を満たさない。	ED0002	メッセージエリア
8	報告回数上限チェック	今回の報告回数が99回(パラメータ値)以下であること。		
		上記条件を満たさない。	ED0004	メッセージエリア
9	排他チェック	表示中の被災状況情報が最新であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0013	被災状況一覧画面のメッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 6 被災状況追加報告

【2】チェック処理 2/2

※3 必須項目

項目名	トリガー
報告日時 報告者氏名 被災状況(メモ除く) 電気 ガス 水道 通話・通信	(登録ボタン押下)

※4 "テキストエリア入力"項目

項目名	トリガー
被災状況(メモ) 備考	(登録ボタン押下)

※5 "全半角"項目

項目名	トリガー
報告者氏名 被災状況(メモ) 備考	(登録ボタン押下)

※6 "半角英数記号"項目

項目名	トリガー
報告者電話番号(数字またはハイフンのみ可)	(登録ボタン押下)

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 7 被災状況CSV登録

【1】イベント 1/5

No.	項目名	トリガー	処理内容						
1	—	初期表示	<div><1.1 前提条件> 1.1.1 被災状況一覧画面より遷移する。</div> <div><1.2 初期処理> 1.2.1 CSVファイル欄の項目を初期化する。 1.2.2 メッセージエリアを初期化する。 1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。<ul style="list-style-type: none">・ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。・ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。1.2.4 災害名プルダウンを、DBに登録された未削除の災害情報から生成する。<ul style="list-style-type: none">・災害発生日時／災害IDの降順でソートする。・初期値として、被災状況一覧画面で表示中の災害名を表示する。1.2.5 組織名プルダウンを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って生成する。</div> <table><tr><th>ユーザレベル</th><th>組織名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>本社</td><td><ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”--選択してください--”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr><tr><td>支店 グループ会社</td><td><ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”--選択してください--”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr></table>	ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容	本社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”--選択してください--”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。	支店 グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”--選択してください--”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。
ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容								
本社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”--選択してください--”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								
支店 グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・組織コードの昇順でソートする。・選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”--選択してください--”を選択状態にする。・選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								
2	クリアボタン	押下時	<div><2.1 前提条件> 2.1.1 クリアボタンを押下する。</div> <div><2.2 クリア処理> 2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001) 「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下: 次の処理(2.2.2)へ進む。 キャンセル押下: 処理を抜ける。 2.2.2 すべての入力項目を初期表示時の状態に戻す。 2.2.3 メッセージエリアを初期化する。</div>						

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 7 被災状況CSV登録

【1】イベント 2/5

No.	項目名	トリガー	処理内容
3	参照ボタン	クリック時	<p><3.1 前提条件> 3.1.1 参照ボタンを押下する。</p> <p><3.2 ファイル参照処理> 3.2.1 ウィンドウズファイルダイアログを開く。 [初期設定] ・ダイアログはモーダルとし、他の操作をできなくする。 ・ファイルの手動入力是不可とする。 3.2.2 ウィンドウズファイルダイアログで、インポートするCSVファイルを指定する。 3.2.3 "開く"ボタン押下で、CSVファイル欄に指定したフォルダ名、ファイル名を表示する。 3.2.4 "キャンセル"ボタン押下で、ウィンドウズダイアログが閉じ、CSVファイル欄は更新しない。 3.2.5 ウィンドウズファイルダイアログを閉じて、ビルデータCSV登録画面に戻る。</p>
4	登録ボタン	クリック時	<p><4.1 前提条件> 4.1.1 登録ボタンを押下する。</p> <p><4.2 登録確定処理> 4.2.1 確認ダイアログを表示する。(ND0001) 「被災状況情報を登録します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(4.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。</p> <p>4.2.2 画面入力必須チェックを行う。 ・チェック内容は、【2】の画面入力必須チェックを参照。 ・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。</p> <p>4.2.3 被災状況CSV登録処理の二重起動有無をチェックする。 ・チェック内容は、【2】の二重起動有無チェックを参照。 ・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。</p> <p>4.2.4 ファイルの入力有無チェックを行う。 ・チェック内容は、【2】のファイルの入力有無チェックを参照。 ・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。</p> <p>4.2.5 ファイルの拡張子チェックを行う。 ・チェック内容は、【2】のファイル拡張子チェックを参照。 ・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。</p>

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 7 被災状況CSV登録

【1】イベント 3/5

No.	項目名	トリガー	処理内容								
4	4.2.6 ファイル読取権限チェックを行う。		<ul style="list-style-type: none">・ チェック内容は、【2】のファイル読取権限チェックを参照。・ エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。								
	4.2.7 ファイルサイズチェックを行う。		<ul style="list-style-type: none">・ チェック内容は、【2】のファイルサイズチェックを参照。・ エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。								
	4.2.8 被災状況CSVファイルを読み、件数チェックを行う。		<ul style="list-style-type: none">・ チェック内容は、【2】のファイル件数チェックを参照。・ エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。								
	4.2.9 災害情報有無チェック		<ul style="list-style-type: none">・ チェック内容は、【2】の災害情報有無チェックを参照。・ エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。								
	4.2.10 CSVファイルを読み、各データ毎のチェック処理を全データ行い、エラーを検出した場合はエラーファイルにエラーの内容を出力する。		<ul style="list-style-type: none">・ エラーファイルには下記の情報を出力する。								
			<table><tr><th>No</th><th>出力項目</th></tr><tr><td>1</td><td>エラーを検出したCSVファイルの行数</td></tr><tr><td>2</td><td>エラーを検出した項目名</td></tr><tr><td>3</td><td>エラーメッセージ</td></tr></table>	No	出力項目	1	エラーを検出したCSVファイルの行数	2	エラーを検出した項目名	3	エラーメッセージ
No	出力項目										
1	エラーを検出したCSVファイルの行数										
2	エラーを検出した項目名										
3	エラーメッセージ										
			例) 行数 : 21行目 項目名 : 会社名 エラーメッセージ : 会社名は必須項目です。会社名を入力して下さい。								
	4.2.10.1 ファイルレイアウトのチェック		<ul style="list-style-type: none">・ チェック内容は、【2】のファイルレイアウトチェックを参照。								
	4.2.10.2 項目の必須チェックを行う		<ul style="list-style-type: none">・ チェック内容は、【2】の必須チェックを参照。								
	4.2.10.3 項目の文字数チェックを行う		<ul style="list-style-type: none">・ チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。								
	4.2.10.4 項目の属性チェックを行う		<ul style="list-style-type: none">・ チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。								
	4.2.10.5 項目の値チェックを行う		<ul style="list-style-type: none">・ チェック内容は、【2】の値チェックを参照。								
	4.2.10.6 項目のファイル内一意チェックを行う		<ul style="list-style-type: none">・ チェック内容は、【2】のファイル内一意チェックを参照。								

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 7 被災状況CSV登録

【1】イベント 4/5

No.	項目名	トリガー	処理内容
4	4.2.10.7 処理対象か判定して処理を振り分ける。		
	項目	値	処理
	組織名	画面選択の組織名と一致。	処理が必要。処理(4.2.10.8)へ進む。
		上記条件を満たさない。	処理不要。次のデータを処理する。
	4.2.10.8 処理対象か判定して処理を振り分ける。		
	項目	値	処理
	被災状況	被災あり	処理が必要。処理(4.2.10.9)へ進む。
		被災なし	処理が必要。処理(4.2.10.9)へ進む。
		報告なし	処理不要。次のデータを処理する。
	4.2.10.9 組織名存在チェックを行う		
	・ チェック内容は、【2】の組織名存在チェックを参照。		
4.2.10.10 会社名存在チェックを行う			
・ チェック内容は、【2】の会社名存在チェックを参照。			
4.2.10.11 ビルデータ情報有無チェックを行う			
・ チェック内容は、【2】のビルデータ情報有無チェックを参照。			
4.2.10.12 報告回数の上限チェックを行う			
・ チェック内容は、【2】の報告回数上限チェックを参照。			
4.2.11 チェック結果の判定を行う。			
・ 全てのデータがチェックOKの場合：			
・ 次の処理(4.2.12)へ進む。			
・ 1つでもチェックNGの場合：			
・ エラーメッセージエリアに下記情報を表示する。(EZ0001)			
「 被災状況情報の登録でエラーが発生しました。			
エラー内容はエラーファイルを確認して下さい。			
被災状況情報 エラーファイル yyyyymmddhhmmss.csv 」			
・ エラーファイルを別途生成し、エラーファイルのリンクを			
メッセージエリアに表示する。			
・ 処理を抜ける。			

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 7 被災状況CSV登録

【1】イベント 5/5

No.	項目名	トリガー	処理内容
4	4.2.12 被災状況情報をDBに登録(新規または追加報告)する。		
	4.2.12.1 処理対象か判定して処理を振り分ける。		
	項目	値	処理
	組織名	画面選択の組織名と一致。	処理が必要。処理(4.2.12.2)へ進む。
		上記条件を満たさない。	処理不要。
	4.2.12.2 登録対象か判定して処理を振り分ける。		
	項目	値	処理
	被災状況	被災あり	登録が必要。処理(4.2.12.3)へ進む。
		被災なし	登録が必要。処理(4.2.12.3)へ進む。
		報告なし	登録不要。
4.2.12.3 被災状況情報をDBに登録(新規登録または追加登録)する。 ・ 災害ID／組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、 未削除の被災状況情報が、DBに存在しない場合： ・ 新規に被災状況情報をDBに登録する。 ・ 今回の報告回数は“1”回とする。 ・ 災害ID／組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、 未削除の被災状況情報が、DBに存在する場合： ・ 被災状況情報をDBに追加登録する。 ・ 今回の報告回数は前回の報告回数+“1”回とする。			
4.2.13 完了をビルデーター一覧画面のメッセージエリアに表示する。(ND0007) 「被災状況情報を登録しました。」			
4.2.14 被災状況一覧画面に遷移する。			
5	地図に戻るボタン	クリック時	
	<5.1 前提条件>		
	5.1.1 地図に戻るボタンを押す。		
	<5.2 戻る処理>		
	5.2.1 地図画面に戻る。		
6	前に戻るボタン	クリック時	
	<6.1 前提条件>		
	6.1.1 前に戻るボタンを押す。		
	<6.2 戻る処理>		
	6.2.1 前画面に戻る。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 7 被災状況CSV登録

【2】チェック処理 1/3

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	画面入力必須チェック	画面入力必須項目(※4)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EA0001	メッセージエリア
2	二重起動有無チェック	他のPC、ブラウザで被災状況CSV登録処理が行われていないこと。		
		上記条件を満たさない。	EZ0020	メッセージエリア
3	ファイルの入力有無チェック	CSVファイル名が指定されていること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0016	メッセージエリア
4	ファイル拡張子チェック	ファイルの拡張子が”csv”であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0017	メッセージエリア
5	ファイル読取権限チェック	ファイルの読取が可能であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0021	メッセージエリア
6	ファイルサイズチェック	ファイルサイズが1B以上、25MB(パラメータ値)であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0018	メッセージエリア
7	ファイル件数チェック	ファイルで登録する被災状況データ件数が3,000件(パラメータ値)以下であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0019	メッセージエリア
8	災害情報有無チェック	同じ災害IDを持つ、未削除の災害情報がDBIに存在すること。		
		上記条件を満たさない。	ED0005	メッセージエリア
9	ファイルレイアウトチェック	ヘッダーエリア②項目およびデータエリアの区切りとして”,”が1行に15個あること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0015	メッセージエリア
10	必須入力チェック	必須項目(※5)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0002	メッセージエリア
11	文字数チェック	項目(※6)について、入力文字数が指定文字数以下であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0014	メッセージエリア

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 7 被災状況CSV登録

【2】チェック処理 2/3

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
12	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※7)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。 上記条件を満たさない。		
			EZ0008	メッセージエリア
13	属性チェック (半角英数記号)	”半角英数記号”項目(※8)について、半角英数記号のみ入力していること。 上記条件を満たさない。		
			EZ0009	メッセージエリア
14	属性チェック (数字)	”数字”項目(※9)について、数字のみ入力していること。 上記条件を満たさない。		
			EZ0003	メッセージエリア
15	属性チェック (年月日時分)	”年月日時分”(※10)項目が日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする) 上記条件を満たさない。		
			EZ0010	メッセージエリア
16	値チェック	”値”(※11)項目について、値が正しいこと。 上記条件を満たさない。		
			EZ0027	メッセージエリア
17	組織名存在チェック	同じ組織名を持つ、未削除の組織マスタがDBに存在すること。 上記条件を満たさない。		
			EZ0024	メッセージエリア
18	会社名存在チェック	同じ会社名を持つ、未削除の会社マスタがDBに存在すること。 上記条件を満たさない。		
			EZ0024	メッセージエリア
19	ビルデータ情報存在 チェック	同じ組織コード／ビルコード／会社IDを持つ、未削除のビルデータ情報がDBに存在すること。 上記条件を満たさない。		
			EZ0025	メッセージエリア
20	報告回数上限チェック	同じ組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、被災状況情報の件数が99件(パラメータ値)未満であること。 上記条件を満たさない。		
			EZ0025	メッセージエリア
21	ファイル内一意チェック	ファイル内に組織コード／ビルコード／会社IDの同一レコードが存在しないこと。 上記条件を満たさない。		
			EZ0022	メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 CSVファイルの詳細は「5. 2 ファイル設計 5. 2. 1 被災状況CSV」を参照のこと。

※4 必須項目(画面入力項目)

項目名	トリガー
災害名	(登録ボタン押下)
組織名	

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名 3. 1. 4. 7 被災状況CSV登録

【2】チェック処理 2/3

※5 必須項目（ファイル内データエリア項目）

項目名	トリガー
組織名	（登録ボタン押下）
ビルコード	
会社名	
報告日時	
報告者氏名	
被災状況（メモ除く）	
電気	
ガス	
水道	
通話・通信	

※6 文字数チェック（ファイル内データエリア項目）

項目名	桁数	トリガー
組織名	最大50	（登録ボタン押下）
ビルコード	4	
会社名	最大50	
報告日時	最大16	
報告者氏名	最大15	
報告者電話番号	最大13	
被災状況	4	
被災状況メモ	最大400	
電気	4	
ガス	4	
水道	4	
通話・通信	4	

※7 “全半角”項目（ファイル内データエリア項目）

項目名（データエリア）	トリガー
組織名	（登録ボタン押下）
会社名	
報告者氏名	
被災状況	
被災状況メモ	
電気	
ガス	
水道	
通話・通信	

※9 “数字”項目（ファイル内データエリア項目）

項目名	トリガー
ビルコード	（登録ボタン押下）

※10 “年月日時分”項目（ファイル内データエリア項目）

項目名	トリガー
報告日時	（登録ボタン押下）

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 4 被災状況登録

画面名

3. 1. 4. 7 被災状況CSV登録

【2】チェック処理 2/3

※11 “値”項目（ファイル内データエリア項目）

項目名	値	トリガー
被災状況	被災あり 被災なし 報告なし	(登録ボタン押下)
電気 ガス 水道 通話・通信	使用不可 使用可	